

ふりがな 氏名	くらた ももえ 倉田 百恵	都道府県 群馬県	
所属/肩書	群馬県立女子大学 国際コミュニケーション学部		
私のESD活動	大学の講義を通し途上国の抱える問題について理解を深めるとともに HIV 問題についてのプレゼンを行った		

活動の概要

高校生の時から途上国の貧困について興味があり、高校の図書室や市の図書館の本を利用しながら、自分なりに調べてきました。そして、開発途上国の貧困の現状、特に教育制度や、生活環境、病気について、家族と話し合う機会をもつことができました。すると、先日、妹から、「マララさんが行った教育活動について、彼女の書いた本の内容も含め、自分の考えを発表する」というイベントに参加することになった、という知らせを受けました。妹も途上国の貧困について興味を持ち、自ら勉強するようになっていたのです。

また、大学に入学してからは ESD に関係のある授業を積極的に履修し、さらなる知識を得るとともに、授業内で発表の場があると、貧困の国について発表してきました。また授業内で NGO や JICA の職員さんから伺った話を、家族や友人との会話の中に出し、少しでも興味を持ってもらおうとしています。現時点では、自分なりに調べているだけで活動はあまりできていませんが、今回の ESD 日本ユース・コンファレンスへの参加を通して、主観的だけでなく、客観的にも ESD についての考えを持ち、様々な活動を行っていきたいと考えています。

今後の活動や協働への展望

私は今回のコンファレンスを通して、大学在学中には2つのことについて行いたいと考えています。1つ目は、大学で開発経済学や政治学などの授業を履修し、開発途上国や国際政治について学んでいくことです。

そして、授業を通じてさらに知識を深めるとともに、授業内でのプレゼンテーションなどの機会を利用して、今回のコンファレンスで得た様々な方向から自分の意見を発信していきたいと考えています。二つ目は、長期休暇を利用した海外ボランティア活動や、様々なコンテストに積極的に参加することです。現時点では、外務省が主催する「国際問題プレゼンテーションコンテスト」に参加したいと考えていますが、ほかにも調べて、大学生が参加できる様々な発表の場にたくさん参加し、より多くの人に今回の経験を生かした私の考えを知ってもらいたいと考えています。そして、大学卒業後には JICA の職員などの国際支援に携わることのできる職業に就くことを希望しています。そのほかにも仕事以外の国際ボランティア活動などにも参加し、何らかの形で国際支援をしていきたいと考えています。また、これからは ESD 日本ユースの一員として Facebook や Twitter などの SNS を利用して、世界中の人に ESD について、途上国の貧困について知ってもらおうきっかけを作っていきます。